

令和8年度

公務員特別科
2年次シラバス

専修学校熊本壺溪塾

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
政治Ⅱ	後藤	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	公務員試験の政治分野の問題が全問解けるようにするだけでなく、現在、激動している日本や世界や地域の様々な出来事を、主体的、多角的、重層的な視点から判断する知識や能力を定着させる。単に試験に合格するだけでなく、実際に公務員として働く現場において、どの職種にも求められる社会人として不可欠な知識や情報を提供していきたい。

授業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民主政治の歩み（法の支配、社会契約説、民主政治の発達） ・ 各国の政治制度（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国） ・ 基本的人権（人権の内容と分類、国民の義務、新しい人権） ・ 国会（衆議院、参議院、衆議院の優越、国会議員の特権） ・ 内閣（内閣の権限、内閣総理大臣の権限、国会との関係、戦後内閣史） ・ 裁判所（種類、三審制、国会や内閣の関係、違憲法令審査権） ・ 地方自治（地方自治の本旨、首長と議会の関係、財源、地方分権） ・ 政党、選挙（政党の分類、圧力団体との違い、選挙制度の種類と特色） ・ 行政の民主化（行政委員会、審議会、オンブズマン、情報公開法） ・ 国際連盟、国際連合（歴史、主要機関、専門機関、PKO） ・ 国際法（領土、領海、条約、国際慣習法、平時国際法と国際人道法など） ・ 戦後国際政治の流れ（冷戦、緊張緩和、冷戦の終焉、最近の国際情勢）

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト『2026政治・倫理』 『フォーラム公共』	必要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。 全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。 再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
経済Ⅱ	井上	2	前期	必修	2

授業形態	授業目標
講義および演習	本講義では、経済の基礎理論から出発し、日本が抱える財政課題まで視野を広げながら体系的に学習する。前半は、市場のメカニズムや各経済主体の役割を理解し、公務員試験において必須となる経済的思考力を養う。後半は、日本の財政構造や租税制度、日本銀行の金融政策の狙いなど、日本経済の動向を見通す力をつけるとともに、市民サービスを支える財源の重要性を学び、行政官としての高い専門性と資質を備えることを目的とする。

授業内容
<p>基本となる経済のしくみを講義で学び、単元ごとに頻出する用語を確認する。さらに簡単な文章問題や、テキストおよび過去の問題を解いて正誤を判断し知識を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の市場（需要と供給，市場メカニズム 需要曲線と供給曲線のシフト）2回 ・市場の失敗とその対策（寡占と独占，独占の形態，公共財，外部不経済，情報の非対称性）2回 ・現代の企業（経済主体，企業形態，株式会社のしくみと特徴，企業と社会的責任）3回 ・国民経済と景気変動（フローとストック，国民所得の三面等価 名目GDPと実質GDP，経済循環と物価変動）3回 ・財政政策とその健全化（財政のしくみと機能，一般会計予算，国債発行と依存度，租税とその体系）4回 ・金融のしくみと働き（通貨とその機能，信用創造，日本銀行の金融政策，金融の自由化）4回 ・戦後の日本経済の歴史（戦後復興期，高度経済成長期，プラザ合意とバブル好況の発生，平成不況から現在まで）2回 ・国際経済の枠組み（ブレトンウッズ体制とその崩壊，GATTからWTOへ）4回 ・外国為替と国際収支（円安・円高とその影響 日本の国際収支の現状）2回 ・地域的経済結合（EUの成立とイギリスの離脱，その他の経済圏，日本のEPA）4回

テキスト	事前学習	事後学習
『新・初級スーパー過去問ゼミ社会科学』実務教育出版 及びプリント配布。	必要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。 全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。 再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
時事・倫理Ⅱ	後藤・井上	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	講義の前半は、公務員試験で問われる時事課題を中心に、最新の政策動向を体系化して理解するとともに、得点力の向上を目指す。加えて国内外の具体的な取り組みを分析するなかで、公務員としての当事者意識を醸成する。後半は、得点源となる倫理分野を徹底解説し、思想家たちの知見を整理することで正答率を向上させる。同時に、行政官として公正な判断を下せる強い正義感と使命感を育成する。

授業内容
<p>時事問題の背景や内容を講義で学び、ポイントとなる数値や用語をおさえる。さらに簡単な文章問題や、テキストおよび過去の問題を解いて正誤を判断し知識を整理する。</p> <p>時事問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題1回 ・公害とその対策（四大公害、新しい公害と対策法）1回 ・資源エネルギーとリサイクル2回 ・少子高齢化とその対策1回 ・労働と労働問題1回 ・日本経済の諸問題（農業問題と消費者問題）1回 ・少子高齢化（少子高齢化と近年の数値、育児介護休業法とその改定、介護保険法とその改定）1回 ・日本政治と世界政治2回 ・日本経済と経済政策1回 ・情報化社会1回 ・科学、教育、スポーツ1回 ・環境、防災1回 <p>倫理分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源流思想1回 ・西洋近現代の思想2回 ・日本思想2回

テキスト	事前学習	事後学習
『新・初級スーパー過去問ゼミ社会科学』実務教育出版 及びプリント配布。	必要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。</p> <p>全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。</p> <p>再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
日本史Ⅱ	武蔵	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	日本史Ⅰを履修した知識を基盤として、日本の歴史に関する体系的かつ発展的な理解を一層深化させるとともに、歴史的事象の因果関係および時代的特質を多角的に考察する能力を養う。さらに、グローバル化が進展する現代社会に対応し得る公務員として求められる高度な教養と歴史的視野を涵養し、特に明治以降の近現代史における諸事象を踏まえ、公共の利益に資する判断力および倫理観の育成を図る。

授業内容	
第1回 ガイダンス・旧石器・縄文・弥生・古墳時代	第14回 大正時代
第2回 飛鳥時代・奈良時代	第15回 大正・昭和初期（戦前）
第3回 平安時代・古代の文化	第16回 昭和（戦後）
第4回 鎌倉時代①	第17回 平成・テーマ史①
第5回 鎌倉時代②	第18回 テーマ史②
第6回 室町時代・中世の文化	第19回 公務員試験対策演習①
第7回 戦国時代・織豊政権	第20回 公務員試験対策演習②
第8回 江戸時代①	
第9回 江戸時代②	
第10回 江戸時代③・近世の文化	
第11回 幕末・明治時代	
第12回 明治時代②	
第13回 明治時代③	

テキスト	事前学習	事後学習
熊本壺溪塾オリジナルテキスト、プリント類	必要	必要

評価方法・基準
月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。 全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。 再試験に合格した場合の評価3とする。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
世界史	飽本	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	公務員一次試験の合格を目指し、正解率を上げる。また、世界史に興味を持ち、歴史的な視点や教養を身につけ、現代社会の問題を広い視野で多角的に考察できるようにする。

授業内容														
<ul style="list-style-type: none"> ・過去問を基本にポイントを整理し、演習を行う ・授業の最初に、前の授業のチェックテストを行い知識を定着させる ・以下の順で授業を行う。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1,2,3－中国王朝史</td> <td style="width: 50%;">16,17－帝国主義と第一次世界大戦に向かう国際関係</td> </tr> <tr> <td>4,5－古代ヨーロッパ</td> <td>18－戦間期</td> </tr> <tr> <td>6,7－中世ヨーロッパ</td> <td>19,20－戦後の国際関係</td> </tr> <tr> <td>8,9－キリスト教</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10,11－大航海時代・宗教改革</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12,13－絶対王政</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14,15－市民革命</td> <td></td> </tr> </table>	1,2,3－中国王朝史	16,17－帝国主義と第一次世界大戦に向かう国際関係	4,5－古代ヨーロッパ	18－戦間期	6,7－中世ヨーロッパ	19,20－戦後の国際関係	8,9－キリスト教		10,11－大航海時代・宗教改革		12,13－絶対王政		14,15－市民革命	
1,2,3－中国王朝史	16,17－帝国主義と第一次世界大戦に向かう国際関係													
4,5－古代ヨーロッパ	18－戦間期													
6,7－中世ヨーロッパ	19,20－戦後の国際関係													
8,9－キリスト教														
10,11－大航海時代・宗教改革														
12,13－絶対王政														
14,15－市民革命														

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	必要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。</p> <p>全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
地理Ⅱ	牛田	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	日本及び世界の自然環境、産業、文化などの地理的事象について、1年時の学習を踏まえ、身の回りの事象や国内外の情勢などとも重ね合わせながら、より深く考える力を育む。特に、将来公務員としての職に付くことを想定し、防災、地域経済、共生社会など、国民生活や地域住民との関連性を強く意識した思考を促し、公務員に必要な知識や態度などの資質を高める。

授業内容
<p>自然環境、産業、文化などの各地理的事象について系統的に学習するとともに、後半の授業においては系統的に学んだ事項を総合的に考えるために世界や我が国各地域の地誌としての学習を行う。また、学習内容の拡充や定着を図るために過去問を活用した事後学習を課す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界及び我が国の地形（2回） ○世界及び我が国の気候（2回） ○世界及び我が国の農業（2回） ○世界及び我が国の資源・エネルギーの現状（1回） ○世界及び我が国の工業（2回） ○世界及び我が国の貿易・交通・通信（2回） ○国家・民族・文化（2回） ○地図と時差（1回） ○世界の各地域（5回） ○日本の各地域（1回）

テキスト	事前学習	事後学習
プリント	必要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。 全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。 再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
数学Ⅱ	河野	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	数学の基本～応用の習得を目標とする

授業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 方程式, 不等式 ・ 2次関数 ・ 三角比 ・ 順列, 組合せ ・ 確率 ・ 整数 ・ 命題 ・ 絶対値 ・ 必要条件, 十分条件

テキスト	事前学習	事後学習
『公務員専攻科・特別科・専修コース 数学』	必要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験(5問出題)を実施する。 全問正解: 5 4問正解: 4 3問正解: 3 それ以外: 再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。 再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
化学・物理Ⅱ	三藤	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	物理：物理Ⅰで習った知識をもとに、科学的な見方や自然観を深める。 化学：化学Ⅰで習った物質に関する基本的な概念や原理・法則についての学習を踏まえ、現代の生活を支える化学の役割や物質と人間生活との関わりについての理解を深める。

授業内容
<p>【物理】</p> <p>SECTION1 いろいろな力、力のつり合い</p> <p>SECTION2 運動①（速度、等速直線運動、加速度、等加速度直線運動）</p> <p>SECTION3 運動②（重力加速度、自由落下運動、鉛直投下運動、鉛直投上運動、水平投射）</p> <p>SECTION4 運動③（ニュートンの運動の法則、仕事、力学的エネルギー）</p> <p>【化学】</p> <p>SECTION1 物質の構成（物質の分類、元素、周期表、同素体、原子の構造、同位体、イオン）</p> <p>SECTION2 化学結合（イオン結合、共有結合、金属結合、水素結合）</p> <p>SECTION3 物質の状態変化（物質の三態）</p> <p>SECTION4 無機化学、日常生活と物質（合金やプラスチックなど）</p> <p>SECTION5 物質質量、化学反応式</p> <p>SECTION6 酸・塩基</p> <p>SECTION7 酸化・還元</p>

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	必要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。</p> <p>全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。</p> <p>再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
生物・地学Ⅱ	川副智行	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	生物では、生物界における生命現象の特徴を、①細胞（構造と機能）、②個体（生命の維持・活動・継続）、③生態系の順に理解を深め、初級公務員試験生物問題に対応する力を、地学においては、ヒトの生活圏に影響を及ぼす地球及び宇宙の事象の特徴を、①地球（構造・地質・地震）、②火山と岩石、③気象現象、④宇宙の順に理解を深め、初級公務員試験地学問題に対応する力をそれぞれ養う。併せて、社会生活における自然科学分野の課題に対して、その本質を把握して対応できる力を養う。

授業内容	
<p>講義の最初にテキストを用いた例題演習及び解説を行った後に、プリントを用いた詳細な講義を実施する。</p> <p>講義の後半で、テキストを用いた練習問題及び発展問題の演習を行い、知識の定着と応用力の獲得を目指す。</p>	
第1回 細胞の構造と自己複製 第2回 タンパク質合成と酵素 第3回 植物の同化とヒトの血液循環 第4回 肝臓・腎臓の機能と自律神経系 第5回 内分泌系と血液の成分 第6回 免疫 第7回 受容体と神経細胞 第8回 膜電位と中枢神経系 第9回 減数分裂と遺伝 第10回 植物ホルモンと植物の分類	第11回 バイオームと食物連鎖 第12回 環境問題と地球の構造 第13回 プレートと地震波 第14回 地質時代 第15回 火山活動と岩石 第16回 大気圏の分類と自然現象 第17回 気象 第18回 地球の運動と太陽 第19回 惑星と恒星 第20回 演習問題

テキスト	事前学習	事後学習
2026公務員専攻科・特別科・専修コース 理科（生物・地学/化学・物理） 及びプリント配布	不要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。</p> <p>全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。</p> <p>再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
英語	内	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	(1) 一定数の単語・熟語の暗記 (2) 基本的な英文法の理解 (3) 上記2項目を土台にした英文読解

授業内容
1,2-英文構造理解 3-基本問題演習+英文法(時制) 4-基本問題演習+英文法(助動詞) 5-基本問題演習+英文法(態) 6-基本問題演習+英文法(不定詞・動名詞) 7-基本問題演習+英文法(分詞) 8-基本問題演習+英文法(比較) 9-基本問題演習+英文法(関係代名詞) 10-基本問題演習+英文法(仮定法) 11-基本問題演習+英文法(名詞・代名詞) 12-基本問題演習+英文法(接続詞・前置詞) 13~20-過去問演習(国家一般職) 21~25-過去問演習(地方初級) 26~30-過去問演習(警察官・消防士)

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	必要	必要

評価方法・基準
<p>月に1回、全4回実施する定着度テストの問題から抜粋して期末試験を実施する。</p> <p>全4分野正解：5 3分野正解：4 1～2分野正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。また、再試験に合格した場合の評価3とする。</p>

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
国語Ⅱ	飯島	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	膨大な情報を含む文章に対しても、構造を分析し、筆者の主張や論理の骨格を高度な正確性をもって把握する能力を確立する。 文章整序や空欄補充において、断片的な根拠に頼らず、文脈全体の論理的整合性を多角的に検証し、確実に正解を導き出す応用力を養う。 多様な形式の過去問題演習を積み重ねることで、試験本番を見据えた時間配分と確実な得点能力を完成させる。

授業内容	
第1回 ガイダンス・内容把握①	第14回 文章整序・空欄補充確認テスト
第2回 内容把握②	第15回 過去問実践演習①
第3回 内容把握③	第16回 過去問実践演習②
第4回 内容把握④	第17回 過去問実践演習③
第5回 内容把握確認テスト	第18回 過去問実践演習④
第6回 要旨把握①	第19回 過去問実践演習⑤
第7回 要旨把握②	第20回 過去問実践演習⑥
第8回 要旨把握③	
第9回 要旨把握確認テスト	
第10回 文章整序①	
第11回 文章整序②	
第12回 空欄補充①	
第13回 空欄補充②	

テキスト	事前学習	事後学習
2026公務員専攻科・特別科・専修コース「国語」 プリント教材	必要	必要

評価方法・基準
月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。 全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。 再試験に合格した場合の評価3とする。

シラバス — 判断推理 II

■ 基本情報

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
判断推理 II	永野	1	前期	必修	2

■ 授業形態・目標

授業形態	講義および演習
授業目標	(1) 各単元の問題別の解法パターンの習得 (2) 短時間で解けるようになるように速解テクニックをマスターさせる

■ 授業内容

判断推理は、これまでの学校生活で習ったことがない内容が多く一見難しそうに見えるが、実際には問題を要領よく解くための「解法パターン」が存在している科目であるので、授業では「解法パターン」を紹介することで初學者でも簡単に解けてしまう成功体験を積み上げさせていく。段階的な指導では、全40回の講義構成で次の順番で指導していく。

- 論理・集合問題・・・3段論法による論理式・3集合ベン図・キャロル表・線分図
- 順序関係・・・定性と定量の順序関係・差異条件・時間のずれ・順位変動
- 対応関係・・・2集合対応関係・多集合対応関係を色々な解法で解く
- 試合・・・リーグ戦・トーナメント戦
- 証言問題・・・4つの解法の習得
- 操作手順・・・渡河問題・油わけ算・ハノイの塔・先手必勝・偽物発見・天秤問題
- 空間把握・・・平面構成（テトリス問題・折り紙・図形のカウント）
- 空間把握・・・立体構成（展開図・投影図・サイコロ・奇跡）
- タイムトライアルによる直前演習

■ テキスト・事前/事後学習

テキスト	事前学習	事後学習
公務員試験要点整理問題集 ポイントマスター判断推理・空間把握 (TAC出版)	宿題以外は不要	授業の再現と京大式カードのポイントのまとめ

■ 評価方法・基準

月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。
 全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験
 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。
 再試験に合格した場合の評価3とする。

シラバス — 数的推理Ⅱ・資料解釈Ⅱ

■ 基本情報

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
数的推理Ⅱ 資料解釈Ⅱ	永野	2	前期	必修	3

■ 授業形態・目標

授業形態	講義および演習
授業目標	(1) 数学ではなく算数をベースにした立式しない解法の確立 (2) 時間内に解けるようになるように速解テクニックをマスターさせる (3) 視覚的に捉える学習及び比の考え方の定着をはかる (4) 京大式カードに解法のコツ・テクニック・ポイントをまとめる力を養成する

■ 授業内容

数的推理では、数学と違って一般性を持たせる発想をせず途中の過程も問題にしない科目であるため、どのような方法であれ、いかに効率良く時間をかけずに正答にたどり着けるか、その発想力・推理力・判断力を算数をベースに段階的に身につけさせていく。段階的な指導では、全60回の講義構成で次のテーマの順番で解説・演習の繰り返しで指導していく。

- | | |
|---------------|---------------------|
| ○テーマ1 方程式と不等式 | ○テーマ10 整数問題（魔方陣） |
| ○テーマ2 速さ（旅人算） | ○テーマ11 整数問題（剰余系問題） |
| ○テーマ3 速さ（通過算） | ○テーマ12 整数問題（数字パズル） |
| ○テーマ4 速さ（流水算） | ○テーマ13 整数問題（記数法） |
| ○テーマ5 速さ（時計算） | ○テーマ14 整数問題（規則性） |
| ○テーマ6 割合（比） | ○テーマ15 図形の計量（三角形） |
| ○テーマ7 割合（濃度） | ○テーマ16 図形の計量（相似と面積） |
| ○テーマ8 仕事算 | ○テーマ17 図形の計量（円と扇形） |
| ○テーマ9 売買算 | ○テーマ18 図形の計量（立体構成） |

資料解釈は全3回の講義で頻出の表とグラフの資料の読み取り方や高速計算方法の指導を行う

■ テキスト・事前/事後学習

テキスト	事前学習	事後学習
拙著「集中講義！ 数的推理の過去問」を引用したオリジナル教材 資料解釈はプリント	宿題以外は 不要	授業の再現と京大式カードの ポイントのまとめ

■ 評価方法・基準

月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。
 全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験
 尚、期末試験の得点による絶対評価とする。
 再試験に合格した場合の評価3とする。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
作文	飽本	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義・演習と添削指導	公務員試験における作文を、与えられた時間内に的確な内容で論理的かつわかりやすく書くことができる。

授業内容	
<p>授業時間内で600字程度の作文を完成させる。提出後個別添削し、各自、自身の作文の良い点、改善すべき点を見直す。また、クラスの他の生徒の作文を読み、良い点や自分の作文に生かしたい点を学ぶ。加えて、テキストを用いて、短作文・文法問題などに取り組む。</p>	
時数	テーマ
1	公務員試験の作文とは
1	横書原稿用紙の使い方
1	公務員試験における作文の書き方
1	NG作文
1	表現力をつけよう
2	私を成長させてくれた出来事について
2	これまで最も感動した出来事について
2	他人に対する配慮について
2	災害に対する心構えについて
2	働くことの意義について
2	地域の人々から信頼される職員となるために
2	社会に出て働くということ

テキスト	事前学習	事後学習
オリジナルテキスト	不要	不要

評価方法・基準
全7回提出の作文の内容（評価）をもとに5段階評価を行う

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
適性演習Ⅱ	武蔵	2	前期	必修	2

授業形態	授業目標
演習	公務員試験特有の事務適性試験の練習・問題演習を徹底して繰り返すことで、高得点を目指す。

授業内容	
(1) 基礎編	5回
(2) 応用編	15回
(3) 実戦（過去問）編	16回
(4) 市町村過去問	5回
あらゆるパターンの出題に対応できるよう、練習・演習を繰り返します。	

テキスト	事前学習	事後学習
適性試験過去問	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
定例問題演習Ⅱ	船津	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
過去問演習 解説講義	公務員試験の過去問を本番形式で取り組み、適正な時間配分と解答方法を身に付ける。

授業内容	
(1) 公務員模擬試験 1 (2) 定例問題演習 1 (3) 定例問題演習 2 (4) 公務員模擬試験 2 (5) 解説講義 (6) 解説講義 (7) 定例問題演習 3 (8) 定例問題演習 4 (9) 定例問題演習 5 (10) 公務員模擬試験 3 (11) 解説講義 (12) 解説講義 (13) 定例問題演習 6 (14) 公務員模擬試験 4 (15) 解説講義	(16) 解説講義 (17) 定例問題演習 7 (18) 定例問題演習 8 (19) 定例問題演習 9 (20) 公務員模擬試験 5 (21) 解説講義 (22) 解説講義 (23) 定例問題演習 10 (24) 定例問題演習 11 (25) 定例問題演習 12 (26) 公務員模擬試験 6 (27) 解説講義 (28) 解説講義 (29) 定例問題演習 13 (30) 定例問題演習 14 ※ 1回が約 2 時間分に相当します。単位時間数の合計は 62.4 時間。

テキスト	事前学習	事後学習
公務員試験過去問	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には 3 分の 2 以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
校内模試Ⅱ	船津	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
公務員試験形式の問題演習	授業の進度別の問題演習を実施する。

授業内容	
* 校内模試(1)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(2)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(3)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(4)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(5)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(6)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(7)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(8)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(9)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(10)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(11)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(12)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(13)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(14)	教養試験45題/適性試験120題
* 校内模試(15)	教養試験45題/適性試験120題

テキスト	事前学習	事後学習
ウイネット 校内模試セット (全15回)	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
補講・模試解説 Ⅱ	永野	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
解説講義と補講	公務員模擬試験の解説講義および数的推理のフォローのための補講を実施する。

授業内容
<p>模擬試験解説 全6回</p> <p>数的推理 補講 全9回</p> <ul style="list-style-type: none"> * 速さと比 * 仕事算 * 流水算 * 旅人算 * 通過算 * 比・割合 * 食塩水 * 売買損益 * 増減

テキスト	事前学習	事後学習
実務教育出版模試 3回、ウィネット模試 3回	不要	不要

評価方法・基準
出席により単位認定を行う。単位取得には3分の2以上の出席が必要。

◆実務経験のある教員等による授業科目に該当する

科目名	担当	開講年次	学期	必修/選択	単位数
面接・公務員探求Ⅱ	土村 飯島	2	前期	必修	1

授業形態	授業目標
講義および演習	<p>自己理解の深化：自己分析を継続し、志望先の求める人物像に合わせて自分の強みを効果的に再構築できる。</p> <p>説得力のある展開：志望動機の内容をより具体化し、自身の経験と志望先との接点を論理的かつ情熱を持って伝えられる。</p> <p>実践的な対応力の向上：模擬面接やAIによる客観的なフィードバックを通じ、自分の話し方の癖を修正し、より伝わりやすい表現へと改善できる。</p>

授業内容	
第1回 面接ガイドブック説明①	第14回 神奈川県警説明会
第2回 面接ガイドブック説明②	第15回 熊本県警説明会
第3回 自己分析①	第16回 警視庁説明会
第4回 自己分析②	第17回 東京消防庁説明会
第5回 志望動機①	第18回 ハローワーク説明会
第6回 志望動機②	第19回 熊本国税局説明会
第7回 福岡県警察説明会	第20回 振り返りとまとめ
第8回 九州地方整備局説明会	
第9回 一般曹候補生説明会	
第10回 熊本県職員説明会	
第11回 熊本市職員説明会	
第12回 門司税関説明会	
第13回 刑務官説明会	

テキスト	事前学習	事後学習
プリント教材/面接ガイドブック	不要	不要

評価方法・基準
<p>月に1回実施する確認テストの問題から抜粋して期末試験（5問出題）を実施する。</p> <p>全問正解：5 4問正解：4 3問正解：3 それ以外：再試験</p> <p>尚、期末試験の得点による絶対評価とする。</p> <p>再試験に合格した場合の評価3とする。</p>